



大阪・関西万博に向けた蚊媒介感染症対策の取組みについて

大阪府 健康医療部 保健医療室 医療・感染症対策課 感染症企画グループ 総括主査 高塚 遼

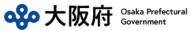


◎2014 大阪府もずやん

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO 2025



大阪府の概要



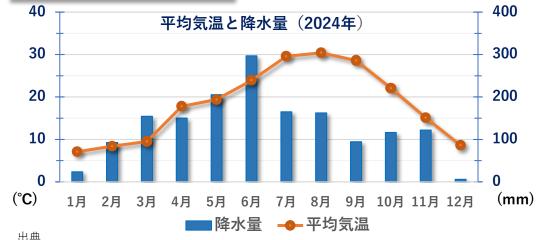


■基礎データ



推計人口 総数(令和7年7月1日現在)	8,774,930人(全国3位)
世帯数(同上)	4,357,362世帯
面積	1905.34k㎡(全国46位、0.5%)
市町村数	43市町村(33市9町1村) (2政令指定都市、7中核市)
国際線就航便数(旅客・貨物) 【関西国際空港】	71都市、1,131.5便/週(令和5年夏期)
訪日外国人客数(令和元年)	約1,230万人(全国2位、39%)
外国人延べ宿泊者数(令和6年)	25,393,930人(全国2位、15.4%)

■気候



- ◆ 大阪府ホームページ:府の概要 [LINK]
- 大阪の概要① <u>[LINK]</u>

府内の感染症関係組織





■府内の保健所 三島二次医療圏 大阪府茨木保健所 (保健所設置市含む) 能勢町 4 高槻市保健所 豊能二次医療圏 **↑** 大阪府池田保健所 5 豊中市保健所 9 吹田市保健所 北河内二次医療圏 箕面市 大阪府守口保健所 4 大阪府四條畷保健所 6 枚方市保健所 8 寝屋川市保健所 大阪市二次医療圏 1 大阪市保健所 3 中河内二次医療圏 7 3 東大阪市保健所 堺市二次医療圏 7 八尾市保健所 2 堺市保健所 南河内二次医療圏 5 大阪府藤井寺保健所 大阪府富田林保健所 河内長野市 泉州二次医療圏 力 大阪府和泉保健所

8 大阪府岸和田保健所

会 大阪府泉佐野保健所

【保健所における感染症に関する業務】

- 地域保健関係 (保健師) 感染症対策、感染症患者への相談・疫学調査等
- 環境衛生関係 (薬剤師等)

旅館・公衆浴場等の衛生監視指導(レジオネラ関係)、衛生害虫に関する相談受付

■本庁 (大阪府)



【医療・感染症対策課】

- 感染症の予防啓発、研修等の実施
- 感染症発生動向の把握

【環境衛生課】

- 旅館業法・公衆浴場法等の施行(レジオネラ関係)
- 衛生害虫に係る事項(動物由来感染症関係)

■地方衛生研究所



大阪府保健所

保健所設置市保健所

【地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所】

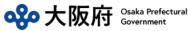
- > 2017年4月に大阪府立公衆衛生研究所と大阪市立環境科学 研究所の衛生部門を統合
- > 統合前から研究・検査機関として健康危機事象に対応
- > 統合を契機に疫学調査専門家の育成を実施

【その他の地方衛生研究所】

> 堺市衛生研究所、東大阪市保健所環境衛生検査センター

- 医療・感染症対策課 「LINK」
- 環境衛生課 「LINK]

府内の蚊媒介感染症の発生状況



■府内における発生状況の推移

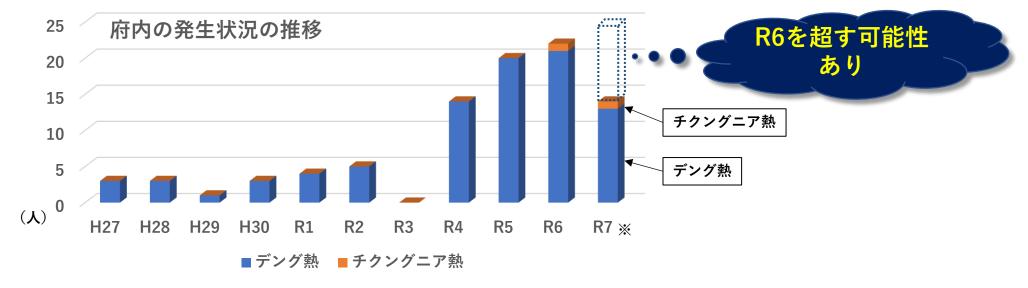
()は全国



※R7は第36週(9月1日~9月7日) 時点

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7%	備考
デング熱	3 (292)	3 (338)	1 (245)	3 (251)	4 (461)	5 (45)	0 (8)	14 (99)	20 (175)	21 (232)	13 (110)	令和元年に他都道府県で国内感染事例あり
チクングニア熱	0(17)	0(13	0(5)	0(4)	0(49)	0(3)	0	0(6)	0(7)	1(10)	1(18)	渡航者における発生のみ (国内での感染事例なし)
ジカウイルス感染症	ı	0(12)	0(5)	0	0(3)	0(1)	0	0	0(2)	1(4)	0	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

出典:国立感染症研究所 感染症発生動向調査事業・感染症発生動向調査 週報 速報データ、大阪府「大阪府感染症発生動向調査事業報告書」







平時の取組 ~媒介蚊サーベイランス~



大阪府では、蚊が媒介する感染症®のまん延防止につなげるため、感染症媒介蚊サーベイランスとして、 平成15年度から蚊の実態調査並びにウイルス保有調査を実施しています。

> 大阪市M 東大阪市西 東大阪市東 人尾市西

八尾市東 藤井寺市 富田林市 和泉市

泉大津市 岸和田市 貝塚市 泉佐野市 阪南市



■府内の設置地点

■結果の公表(大阪府)



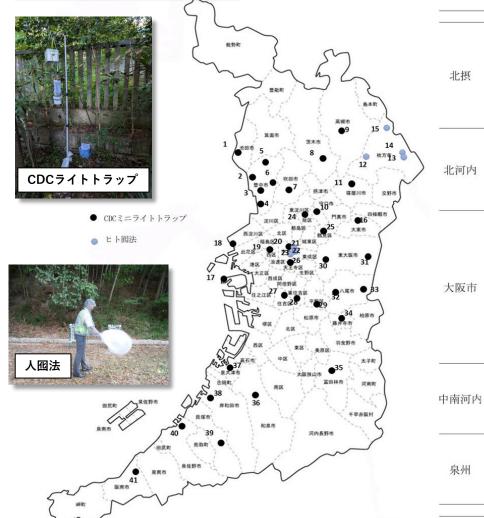
(※)ウエストナイル熱、デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱及び日本脳炎

全8回の捕獲期間と結果の公表日

* 単小ま口	1	2	3	4	(5)	6	7	8
結果公表日	7/10	7/24	8/7	8/21	9/4	9/18	10/2	10/8
捕獲期間	6/25~6/26	7/9~7/10	7/23~7/24	8/6~8/7	8/20~8/21	9/3~9/4	9/17~9/18	10/1~10/2

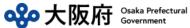
〇府内保健所設置市も各自治体のホームページで結果を公表

出典:令和6年度蚊媒介感染症に係る媒介蚊サーベイランスの結果 [LINK



出典:大阪府内における蚊媒介ウイルス感染症に対するサーベイランス調査 (2023年度) [LINK]

平時の取組~訓練~

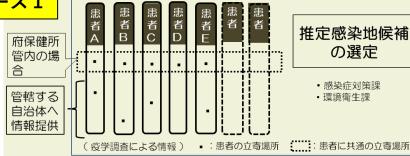


OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO2025

大阪府保健所蚊媒介感染症国内発生時フロー

フェーズ1



推定感染地候補 の選定

- 感染症対策課
- 環境衛生課

フェーズ2



本庁蚊媒介感染症対策会議

(事務局:感染症対策課・環境衛生課)

- •健康医療部保健医療室長

- ·健康医療部環境衛生担当課長

有識者等による意見 •感染症専門家

- •疫学専門家
- ·媒介蚊専門家

推定感染地の決定



フェーズ3

媒 介 蚊 対 策

事務局:推定感染地管轄保健所

蚊の生息調査 蚊の駆除 立入制限区域

等の検討 及び実施

対策の実施

保健所、施設管理者、市町村 媒介蚊専門家等

■訓練内容







②図上訓練(推定感染地等の対策)

現地媒介蚊対策本部(-例)

地域保健課長



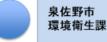


企画調整課長

泉佐野市 危機管理課



泉佐野市 健康推進課



泉佐野市 道路公園課



(例) R5年度の訓練

生活衛生室長

(地独)

大阪健康安全 基盤研究所

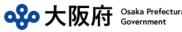
感染症対策企画課

環境衛生課





平時の取組 ~啓発(ホームページの活用)~



■ホームページの活用

❖大阪府 Osaka Prefectural Government

♪ 防災・緊急情報 × ▽☆ 分類から探す 組織から探す

目的から探す

〇 キーワードから 探す

 $\underline{h \vee \mathcal{I}^{\mathcal{N}} - \mathcal{V}} > \underline{dt}\underline{w} \cdot \underline{w} \cdot \underline{w} \times \underline{w} \times$

■ 印刷 更新日:2025年3月5日 ページID:30906

蚊媒介感染症に注意しましょう!

蚊媒介感染症とは

病原体を持っている蚊に刺されることで起こる病気を「蚊媒介感染症(かばいかいかんせんしょう)」と言います。

主な蚊媒介感染症として、デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、マラリアなどがあげられます。これらの感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。

日本においては日本脳炎以外の蚊媒介感染症は海外からの輸入感染症が多いですが、デング熱に関しては2014年及び2019年に国内感染例が報告されました。

出典:大阪府ホームページ/蚊媒介感染症に注意しましょう! [LINK]



対策について

どの蚊媒介感染症であっても対策は同じです!蚊に刺されないようにすることが重要です。



蚊を増やさないために 娘は水のたまっているところに罪を展みます。不要な水たまりを

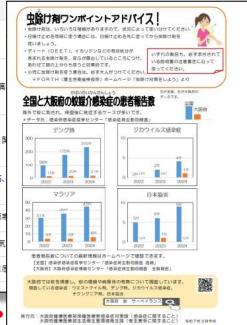
なくしましょう。 総大師の正、党はステロールの施 放置されている空音店、古タイヤなど、 いらないものは検索しましょう。 また、最まできないさタイヤには コップギ外の郁を入れておく方法も あります。

まめに草刈りをするなど、繋が潜む場所を減らしましょう!

日本脳炎と黄熱にはワクチンの接種、マラリアには抗マラリア薬による治療が有効です。

また、デング勲等のウイルス性疾患に対しては、解熱剤の投与、輸液など、症状を軽減させる対症療法が中心となります。







・ワクチンがあるもの : 予防薬がある



平時の取組 ~啓発 (SNSの活用) ~

大阪府 Osaka Prefectural Government

■SNSの活用

おおさか感染症info@大阪府

855 posts

Ø Q



おおさか感染症info@大阪府

@osakakansen

March Translate bio

感染症の発生状況や予防接種等の「感染症の発生状況を 則、リフォローやリツイートなどは行っ pref.osaka.lg.jp/kansenshoshien...

- opref.osaka.lg.jp/iryo/osakakans.
- O Following 41.2K Followers





おおさか感染症info@大阪府 @osakakansen · Jul 31, 2024

【蚊にご注意!】

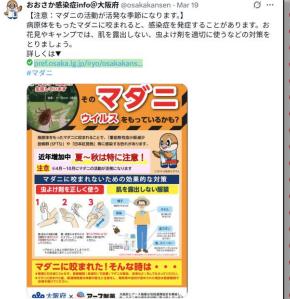
ウイルスを持つ蚊に刺されると、感染症にかかることがあります。今年は熱 帯・亜熱帯地域でデング熱が大流行しています。日本では海外渡航者の感染 例が多いですが、過去には国内感染例の報告もあります。 蚊に刺されない・蚊の発生を防ぐことが重要です。



おおさか感染症info@大阪府

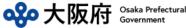
pref.osaka.lg.jp/o100050/iryo/o...







平時の取組 ~民間企業との協定~







▶一般社団法人 大阪府ペストコントロール協会



「蚊が媒介する感染症発生時における蚊の駆除業務等の協力に関する協定」



感染症法第28条の指定区域管理者等から協力要請があった場合、府がPCOに蚊の駆除及び生息調査等を依頼

▶株式会社 葯信社



「蚊媒介感染症発生時における蚊対策薬品の調達に関する協定」



一定量の昆虫成長制御剤を流通在庫等により確保し、蚊媒介感染症発生時に府の要請に応じ供給

■蚊媒介感染症の啓発にかかる取組

▶アース製薬株式会社(包括連携協定)



◇◇ 大阪府× 🎊 アース製薬

7分野にわたる包括連携協定を締結

- ①健康・保健衛生
- ②地域活性化
- 3環境
- ④安全・安心
- ⑤子ども・教育
- ⑥働き方改革・ダイバーシティ
- ⑦府政のPR



啓発ポスターの作成





ドラッグストアの掲示による啓発



出典:アース製薬株式会社との取組み(包括連携協定締結式)<u>[LINK]</u>

大阪・関西万博の概要



Osaka Prefectural Government

■2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に向けての感染症リスク評価



2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に向けての感染症リスク評価

令和6年(2024年)1月9日

国立感染症研究所 実地疫学研究センター

同 感染症危機管理研究センター

同 感染症疫学センタ・

1. 目的

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博、以下万博とする)を、国内外から同時期、同じ目的で特定の場所・地域に多くの者が集まる、いわゆる国際的マスギャザリングイベントととらえ、発生しうる感染症を中心とする健康危機事象を想定し、公衆衛生対応に備えることが重要である。また、来場する外国人客の多くは、国内に一定期間滞在することが見込まれることから、万博会場内外を通じて整合性のある備えと内外での情報の共有が重要である。

万博に関して、国、各自治体(特に大阪府・市を含む近畿圏)の感染症担当部局が地域住民、国 内外の万博来場者における感染症のリスクを事前に評価し、事前、期間中、事後の準備と対策に資 する。

対象:

- ◆ 国内外の万博来場者
- ◇ 開催地周辺自治体の住民
- ⇒ 参加者:160か国・地域、9国際機関(2023年11月14日現在)からの公式参加者とパビリオン出展・催事・運営・営業等に係る非公式参加者
- ◇ 万博会場で業務に従事するスタッフ:医療・警備・清掃・案内所担当・ボランティア等
- ◇ 関係機関:国・府市・警察・消防等

2. 万博の概要

開催期間1:2025年4月13日(日)-10月13日(月)184日間

開催場所 1 : 大阪市此花区 夢洲(ゆめしま)(約 155ha)、大阪北港にある人工島 3 地区のひと

2



【リスク評価の結果の表(一部抜粋)】

出典:国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に向けての感染症リスク評価 [LINK]

疾患群	疾患名	(A) 国外からの 持ち込み。	(B) 大阪府内 における ^b 感染伝播	(C) 万博(来場 者、スタッ フ)に関連 した集団発 生	(D) 大規博事 例かつ重 症度のの い症例の 発生	発生時の公衆衛生対応等の特記事項
	COVID-19 ^{(定点)(VPD)}	0	0	0		
急性呼吸器	百日咳 ^{b(VPD)}		0	0		季節性インフルエンザについては南半球から の持ち込みの懸念。既存のサーベイランス体 制では、早期探知が困難
感染症	季節性インフルエンザを含むインフルエンザ様症状を呈する急性呼吸器感染症(- 節定点)(VPD)	0	0	0		
	レジオネラ症 り		0	0		会場などに関連した集団発生の際に、感染源 調査等を要する
蚊媒介感染症	デング熱/チクングニア熱/ジカ ウイルス感染症。	0		0		媒介蚊対策の負荷等が大きい
その他	結核 ^b	0	0			



媒介蚊サーベイランスを<u>「強化サーベイランス」</u>へ

- 万博会場内で媒介蚊サーベイランスのトラップを設置(2地点)
- > 保健所設置市を含めた府内の媒介蚊サーベイランスの結果を一元的に集約し、感染 症発生動向調査等の他の疫学情報と合わせて解析

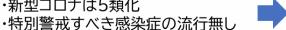
大阪・関西万博に向けたサーベイランス体制の強化



大阪・関西万博の特徴を踏まえた対応策

大 阪 関 西 万 博

・新型コロナは5類化 流行感染症



万博に関連した感染症発生時は迅速な情報連携が必要

開催期間

·約半年間(4月~10月)



開催時期(春~秋)を考慮した対応に加えて、 マンパワー等を踏まえた持続可能な対応が必要

来訪者

・各国の参加者(事業者・スタッフ等) ・各国の一般客等



○会場関係者・参加者の感染状況やその兆候のモニタリングが必要

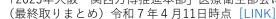
○国内外の感染症流行状況のモニタリング等、幅広い監視が必要。

必要なサーベイランス体制

- ○半年間の万博期間中において、万博に関連した感染症発生に対する感度向上を目的として、通常の発生動向調査に加えて、 様々な角度から感染症の発生及びそれらの兆候を探知できるよう幅広くサーベイランスを実施する必要がある。
- ○大阪・関西万博感染症情報解析センターにおいて、<u>各サーベイランス情報を収集し、万博への影響等を評価</u>するとともに、 平時と発生時(臨時)で、情報還元の頻度を使い分ける等、半年間持続可能でメリハリのついた提供体制が必要。

(参考)過去イベントの特徴等

イベント(実施年)	開催地	特徴	対応策(サーベイランスのポイント)		
G20大阪サミット (2019)	大阪市	【流行感染症】特別警戒が必要な流行無し 【開 催 期 間】2日間 【主な来訪者】各国の要人等	短期間かつ要人周辺の来訪のため、通常の感染症発生動向調査に加え、現場 対応する警察官の健康状況モニタリング等を実施		
ラグビーWC 2019 (2019)	東大阪市等	【流行感染症】特別警戒が必要な流行無し 【開 催 期 間】約1か月間(東大阪市内会場) 【主な来訪者】各国の選手や一般観客等	海外来訪者が見込まれるものの、特別警戒が必要な流行がなく、通常の感染 症発生動向で運用 (東大阪市が会場警備スタッフの感染状況を確認)		
東京2020オリ・パラ (2021)	東京	【流行感染症】全国的に新型コロナが流行中 【開 催 期 間】約2か月間 【主な来訪者】各国の選手(無観客)	東京都は新型コロナ陽性選手の宿泊調整等の迅速対応が出来るよう日常的 にモニタリング 出典:「2025年大阪・関西万博推進本部」医療衛生部		



大阪・関西万博における感染症対策強化の全体像



万博期間中における感染症の発生動向・関連情報の探知体制(サーベイランス)を強化

万博関連情報の探知強化

府内外を問わず、万博会場が 感染源として疑われる感染症 患者等の届出情報を探知

会場内の感染症兆候探知※1

①会場関係者の健康管理、 ②会場内診療所の情報から 感染症を疑わせる兆候を探知

蚊媒介ウイルスの探知強化

会場内での蚊捕獲を加えた、 府内全域で蚊を捕獲し、蚊媒 介ウイルスを探知

海外の感染症情報の収集

国内への感染症輸入リスク の把握のため、海外感染症 の流行情報等を収集

治療薬の処方情報の収集

抗インフルエンザ薬等の 処方数による推計患者数 情報を収集※2



※1 博覧会協会が会場内サーベイランスを実施

情報集約

サーベイランス強化体制

大阪・関西万博感染症情報解析センター <R7.1~>

※2 日本医師会、日本薬剤師会、日本大学薬学部薬学研究科、 (株)EMシステムズ共同運用の薬局サーベイランスから収集

広域連携·情報発信体制

大阪府•大阪市

- ▶医師会、博覧会協会、国、検疫所、 他自治体等と情報連携
- ▶一般住民等への情報発信・啓発

情報連携



大阪府

大阪市

異常探知等 迅速連携

感染研

大安研

- ▶ 各種サーベイランス、感染症発生情報の収集、状況把握
- ▶ 収集情報を基にした万博への影響等の分析・評価
- ▶ 週報・臨時報告を作成し、保健所、博覧会協会等への情報還元
- 一般住民等への情報発信・啓発

情報発信等 (報道提供等)

情報連携

情報 発信等



一般住民等



情報還元(週報・臨時)

会場 博覧会 協会

万博関係者·参加者 への注意喚起・啓発等



調査等(大阪市)



11 11 11

11 11 11

保修所

(政令市・中核市含む)

支援依頼



強化サーベイランス の還元情報を活用

した調査が可能

大阪・関西万博 感染症情報解析センター

感染症事例

出典:「2025年大阪・関西万博推進本部」 医療衛生部会における検討状況

(最終取りまとめ)令和7年4月11日時点







疫学調査支援体制

- ▶感染症対応訓練·研修(R6年度)
- ▶保健所の積極疫学調査の 技術的助言·支援等











大阪・関西万博感染症情報解析センターの概要(1)

運用内容



大阪・関西万博感染症情報解析センターの設置・役割



大阪・関西万博感染症情報解析センター(解析センター)の設置及び運用内容に関する概要は以下のとおり。

設置運営	大阪健康安全基盤研究所 ※センター長は、同所に置く。
構成員	大阪府(健康医療部保健医療室感染症対策課) 大阪市(健康局大阪市保健所感染症対策課) 大阪健康安全基盤研究所(公衆衛生部健康危機管理課) 国立感染症研究所(FETP、実地疫学研究センター)※ ※R7.4月以降は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の担当部署
設置期間	R7.1.1~12.31 ※センター運用の準備期間を含めた期間
運用期間	R7.1.14~11.30 ※センター運用(サーベイランスの実施等)の実施期間
運用時間	平日9時30分~17時(予定) ※緊急事案は、上記時間外も対応

① 各サーベイランスによる感染症の探知・情報収集

- ▶ 大阪健康安全基盤研究所が中心となり、各サーベイラ ンスの情報を集約。
- ▶ 発生届に関する情報について、府外の情報は、国立感 染症研究所経由により情報収集し、万博会場に関連す る調査依頼情報等は大阪市より収集。

② 感染症情報の解析評価及び週報等の作成、保健所、万 博協会への情報還元

- ▶ 国立感染症研究所と連携し、大阪健康安全基盤研究所 がリスク評価。
- ▶ 调報等を作成の上、保健所、万博協会へ情報還元。

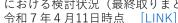
③ 一般住民等への感染症の情報発信

- ▶ 感染症の発生状況に合わせて、週報等を踏まえ、大阪 健康安全基盤研究所が実施。
- ④ 関係機関との情報連携
- ▶ 大阪府、大阪市が、国等の関係機関と連携して、感染対 策を強化。
- ○大阪健康安全基盤研究所以外の構成員は、常時配置せず、 情報連携、必要時の招集を行う4者間の組織として設置。
- ○構成員の人数は、以下のとおり。(R7.4.1現在) 大阪府 8名程度 大阪市 10名 程度
 - 大阪健康安全基盤研究所 センター長1名+7名 程度 国立感染症研究所 5名 程度

出典:「2025年大阪・関西万博推進本部」医療衛生部会 における検討状況 (最終取りまとめ)







大阪・関西万博感染症情報解析センターの概要(2)



Osaka Prefectural Government

強化サーベイランスの収集体制



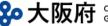
感染症発生動向調査だけでなく、<u>様々な観点から幅広く感染症の発生及びそれら兆候を探知し、総合的に感染症の発生リスクを評価することが</u> 重要であることから、以下を強化サーベイランスとして位置付け、大阪健康安全基盤研究所が中心となり情報を収集。

	万博関連 サーベイランス	会場内サーベイランス	蚊サーベイランス	メディア情報 サーベイランス	薬局サーベイランス
サーベイラ ンス実施 主体	都道府県 保健所設置市等	万博協会	大阪府 府内保健所設置市 等	— (公式・非公式メディア)	以下4者の共同運営により、情報を公開 日本医師会、日本薬剤師会、日 本大学薬学部薬学研究科、(株) EMシステムズ
収集情報	万博関係者や来場者で あって、会場が感染機会 と考えられる事例や感 染可能期間に会場内の 行動歴がある事例	①万博の関係従事者の 日々の健康管理情報、② 会場内診療所で診察した 症例の情報(発熱、呼吸器 症状等の集積把握)	蚊媒介感染症ウイルス※の 検出結果 ※デングウイルス等 【蚊捕獲箇所数】(予定) 府全域約50箇所 会場内2箇所	公式・非公式メディアの 情報	薬局の抗インフルエンザ 薬等の処方数から算出し たインフルエンザ等の推 計患者数
収集方法	感染症サーベイランスシ ステム、関係保健所等へ の聞き取り、大阪市から の情報提供等	万博協会から収集	各検査結果を同所又は堺 市衛生研究所の検査担当 課等から収集	インターネット等から収 集	インターネットで公開されている情報から収集
収集期間	国の事務連絡に記載の 実施期間を踏まえて関 係機関と調整した期間 (解析センターの運用期 間中)	万博協会と調整した期間 (解析センターの運用期 間)	各自治体のサーベイランス実 施期間 (解析センターの運用期間)	解析センターの運用期間	解析センターの運用期間
【参考】 想定収集 期間	R7.3.13~11.30	R7.1.14~10.13	R7.5月中旬~10月下旬	R7.1.14~未定	R7.1.14~11.30 出典:「2025年大阪・関西万博推進



典:「2025年大阪・関西万博推進本部」医療衛生部会

大阪・関西万博感染症情報解析センターの概要(3)



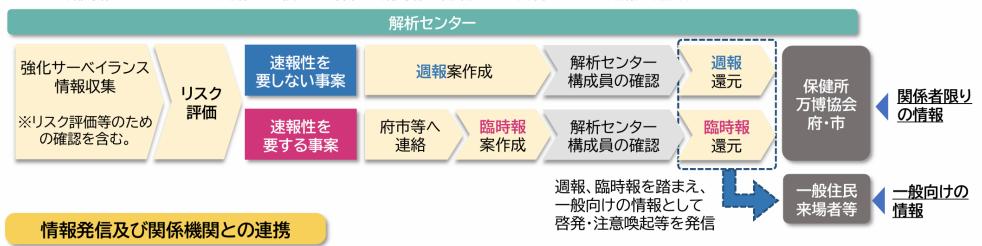
Osaka Prefectural Government

リスク評価と週報等の還元

osaka, kansai, japan EXPO2025

強化サーベイランスで収集した情報を基に、大阪健康安全基盤研究所がリスク評価の上、週報・臨時報を作成し、解析センター構成員の確認を経て、 週報・臨時報を還元する。

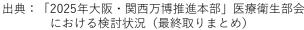
- ・速報性を要しない事案のみの場合は、週報を還元。
- ・速報性を要する事案がある場合は、臨時報を還元。(感染可能期間に会場内での行動歴がある場合など。)
- ※臨時報のタイミングが、週報と重複する場合は、臨時報で記載すべき内容を入れた週報を還元。



- 1. 一般住民、報道機関等への情報発信
- 一般住民や来場者等への感染症に関する予防啓発・情報発信は、大阪健康安全基盤研究所が、解析センターとしてホームページ上で実施。 なお、大阪府、大阪市においても、注意喚起の必要がある時などは、一般住民、来場者及び報道機関等に向けた報道提供等を実施。

2. 関係機関との連携

- 会場内サーベイランスによる情報収集をはじめとして、万博協会と連携しながら、会場内の感染症の発生状況について情報共有を行う。
- 国、他自治体等と適宜連携しながら、万博会期中の感染対策強化を行う。







令和6年度 万博関連感染症対応訓練・研修(実績)



時期	令和6年7月5日	令和6年10月10日 令和6年10月11日	令和6年11月12日	令和6年11月18日 令和6年11月22日	令和6年12月5日	令和7年3月7日	令和7年3月9日
	蚊媒介感染症訓練	麻しん対応研修	麻しん・侵襲性髄膜炎 菌感染症対応訓練	疑似症サーベイラン ス対応研修	新感染症患者発生 時対応訓練	解析センター運用 確認訓練	会場内サーベイラン ス対応訓練
内容	万博開催中に蚊媒介感染症が発生した場合の府市関係職員の役割の確認。 〇講演の実働訓練 (蚊生息調査・同定)	万博開催中に麻しんが発生することを想定し、実践をより意識した研修を実施。(2日間実施) ○講演	会場内等で、麻しん や侵襲性髄膜炎場 感染症が発生した場 合における協会内部 の情報伝達や大の 情報伝達のいて、 関係者間で確認を実 施。	原因不明の重症の感染症疑い事例を補足する疑似症サーベイランスについて、疑似症定点医療機関と共に、発生時の対応の確認等を実施。(2日間実施) 〇講演 〇ケーススタディ	万博開催時の新感染症発生を想定し、 保健所や救急隊は による感染症指定 医療機関への移送・ 搬送を実演。(関係 者間の連携体制を 確認。)	平常時及び緊急時の解析センターの運営について、関係者で情報連携体制を確認。 (想定)会場内外で、感染症が発生した場合を想定し、ケースごとで対応を確認。	博覧会協会主催の医療スタッフ向け研修に合わせて、会場内サーベイランスで解析センターへ共有される情報確認等を実施。
参加者	·府·保健所設置市保保健所職員 使所職員 ·府感染症部局職員 ·大安研職員 ·博覧会協会職員※ ·近畿地方衛生研究 所職員	·府·保健所設置市保健所職員 ・府感染症部局職員 ・大安研職員 ・国立感染研職員 ・博覧会協会職員※	·博覧会協会職員 ·大阪市保健所職員 ·府感染症部局職員 ·国立感染症研究所 職員	·府·保健所設置市保健所職員 ·府感染症部局職員 ·大安研等地衛研職員 ·国立感染研職員 ·疑似症定点病院職員 ·博覧会協会職員*	・藤井寺保健所職員 ・(地独)大阪はびき の医療センター職員 ・大阪南消防局職員 ・府感染症部局職員	·府感染症部局職員 ·大阪市保健所職員 ·大安研研究員 ·国立感染研職員 ·博覧会協会職員	・医療スタッフ ・博覧会協会職員 ・府感染症部局職員等
場 所	大阪城公園 大安研	大安研	博覧会協会オフィス	大安研	(地独)大阪はびき の医療センター	大安研	万博会場等
講師	・大安研研究員 ・府職員	・三重大学神谷教授 ・国立感染研職員 ・大安研研究員	_	·国立感染研職員 ·大安研研究員	_	·国立感染研職員	_

※オブザーバー

出典:「2025年大阪・関西万博推進本部」医療衛生部会 における検討状況 (最終取りまとめ)

令和7年4月11日時点 [LINK]

蚊媒介感染症対策訓練(万博Ver.)

大阪府 Osaka Prefectural Government

■令和6年度

時】令和6年7月5日(金)

【出席者】府・保健所設置市保健所職員、府感染症部局職員、大安研職員、 近畿地方衛生研究所職員、博覧会協会職員(オブザーバー)

的】

- 万博開催中の国内発生事例について、関係機関の動きを確認
- 大阪府蚊媒介感染症対策・対応マニュアルの確認
- 保健所の感染症対応保健師と環境衛生監視員の連携の確認

【内容】

- <午前@大阪城公園>
- 蚊の生息調査実施方法の説明
- 蚊の生息調査の実施 (人囮法・CDCライトトラップ・オビトラップ)
- > 蚊の種類の同定
- <午後@大阪健康安全基盤研究所>
- 蚊媒介感染症について講義(午前中の調査結果含む)
- ▶ ケーススタディー(国内発生事例対応・患者発生)
- ▶ 大阪・関西万博のリスク評価の説明













【日 時】令和7年7月1日(火)

- ■令和6年度との違い
- 出席者に実地疫学専門家養成コース (FETP) 大阪拠点在籍者が出席
- 大阪府PCO協会の協力によるデモンスト レーションを通して蚊の駆除方法を理解
- ケーススタディーのシナリオの変更 (媒介蚊サーベイランスの陽性時対応)
- 国立感染症研究所職員による研究報告 (日本のデング熱サーベイランス評価)

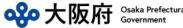






FETP

まとめ





- ●大阪・関西万博を契機に、蚊媒介感染症対策のマニュアル全般を改めて見直すことができた
- ●「解析センター」への情報一元化の調整を通じて、管轄外の自治体を 含めた府内全域のサーベイランスの状況を整理できた
- ●訓練を通じて、有事の対応手順を関係機関が理解し、認識を共有する ことができた
- ●今後のマスギャザリングイベントの準備の参考事例ができた

